

(社)群馬県トラック協会前橋支部 6月活動報告

環境経営委員会

第1回「プロドライバー研修」実施

◆6月2日(土)、今年度第1回目のプロドライバー研修を前橋自動車教習所で開催した。
 ・今年から参加者定員を昨年の倍数にし、19社から4トﾝ部門16名、大型部門16名が参加。
 ・研修は部門ごとに2人1組の16組に分け、1講座40分で計8講座を受ける。昨年実施して、講座移動の時間が取れないことを改善したが、講師に熱が入るとやはり忙しくなってくる。これも参加者に一つでも多くのことを伝えたい気持ちからだ。担当と講座は以下の通り。

前橋自動車教習所	群馬日野自動車	前橋支部
・省燃費講習	・車輛点検	・点呼
・基本走行(場内)		・交通KYT
・省燃費走行(場外)		・業界の課題
・車輛特性		
・法改正		



全体の講評後、参加者一人づつに修了証が渡された

◆「点呼」では仕事モードに気持ちを切り替え、今日の安全運行を心から願う。「交通KYT」では初めて会った参加者同士で意見を出し合う。「業界の課題」では厳しい環境の中、自分の行動が果たす影響を伝えた。他に「車輛特性」として内輪差やオーバーハングを実際に学んだ。

事故防止委員会

第1回「救急救命講習会」実施

◆6月9日(土)、前橋消防局・中央署(朝日町)にて今年度第1回の「救急救命講習会」が参加26名により行われた。

前回(昨年)に比べ、座学時間を20分に短縮。救命方法・AED使用を重点とした内容に変わった。相変わらず胸骨圧迫(心臓マッサージ)は大変だが、心停止により止まった血液を脳に送り込むことが重要。

★119番通報から救急車が到着する時間は市内等平場で9~10分。赤城山・宮城町方面で約20分とのこと。▼胸の真ん中が5cm沈む圧迫を(1分で100回のペースで)30回行い、人工呼吸を2回。これを1サイクルとするが、AEDが無ければ、又は使えなければ、この行為を救急車の到着まで続けなければならない。★人を助ける前に自分の体力を鍛えなくては・・・と毎回思う事務局です。



事故防止委員会

10/20の総決起大会に向け陸災防委員会「合同委員会」開催

◆6月8日(金)、今年10/20に開催予定している「交通・労災事故防止総決起大会」の会場下見を兼ね、事故防止・陸災防合同委員会が前橋問屋センターで行われた。

◆協議では全体実施時間を2時間30分から30分短縮し、事例発表は1社の予定。7月に入ったら優良運転者表彰(銅賞)と標語(交通事故・労災事故の防止)について会員宛案内を発信する。★会場が変わるたび、掲示物も会場に合わせないといけない。準備を入念にやっていますので当日は沢山の方の参加を宜しくお願いいたします。



県卜協

「環境対策・災害支援」チャリティゴルフ大会開催

◆6月5日(火)、赤城国際カントリークラブにて標記大会が開催された。近年は幹事支部が持廻りとなり、今回は前橋支部と佐波伊勢崎支部の中毛ブロックが運営を担当した。アトラクションホールではカップを3つにする等、大勢の方からチャリティに寄付を戴いた。



「トラックの森」事業に参加協力

◆6月10日(日)、前橋嶺公園にて下草刈りが行われた。前橋支部も環境経営委員会・青年部会が積極的に参加。毎回参加している某家では家庭内恒例行事になっている。

